

北海道駒ヶ岳

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2019年7月～2020年6月の発表履歴

変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------	----------------------------

○2019年7月～2020年6月の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1-①～③、図2～4）

山頂に設置した監視カメラでは、昭和4年火口、96年南火口列で時折ごく弱い噴気を観測しています。山麓に設置した監視カメラでは噴気は観測されませんでした。

2019年9月17日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では各火口の状況に変化は認められませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図1-④～⑥、図5）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図6）

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokujii.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、国立研究開発人防災科学技術研究所、北海道、森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。また、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平29情復、第958号）。

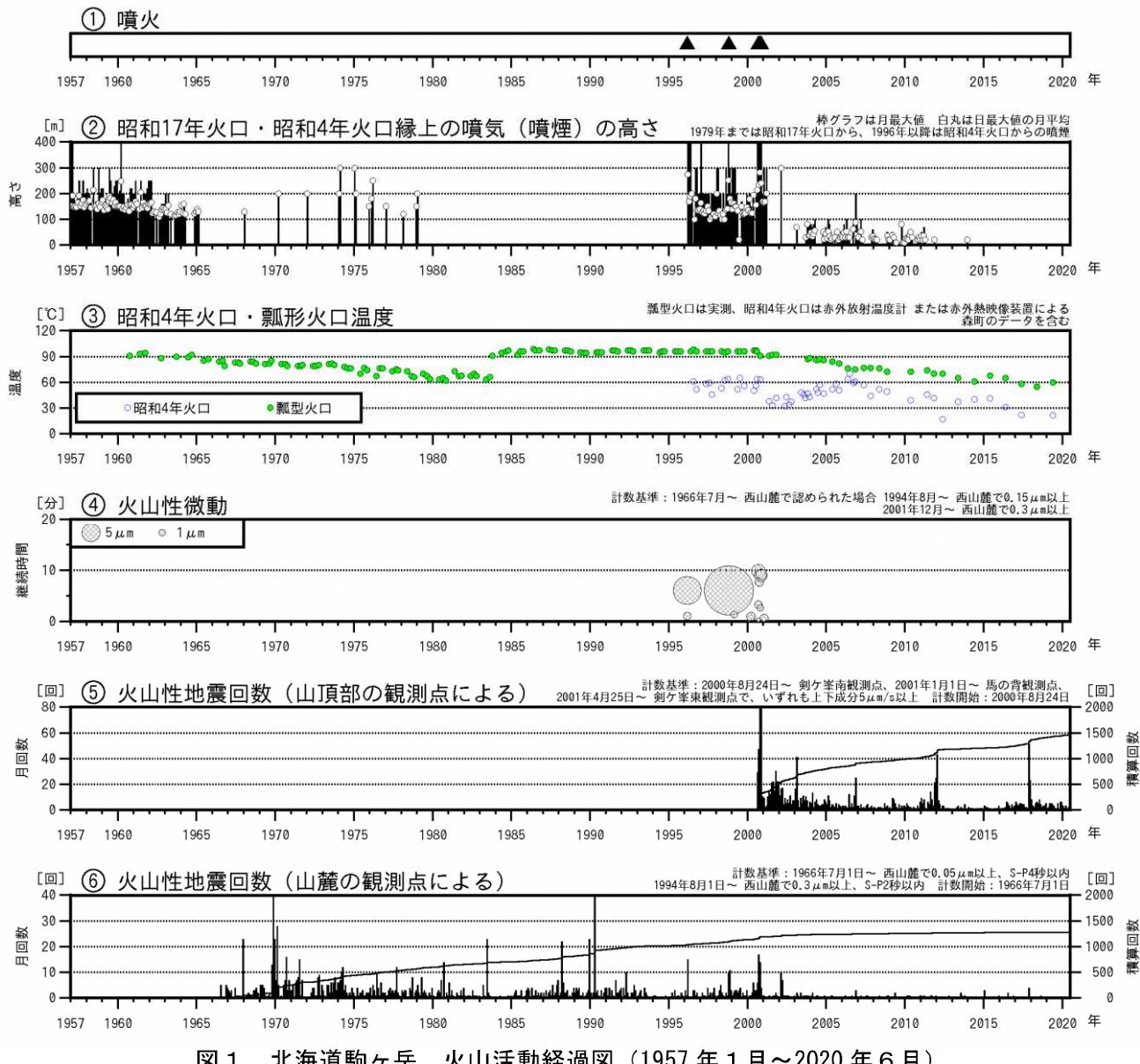


図1 北海道駒ヶ岳 火山活動経過図（1957年1月～2020年6月）



図2 北海道駒ヶ岳 西南西側から見た火口周辺の状況
(2020年6月19日、剣ヶ峯監視カメラによる)

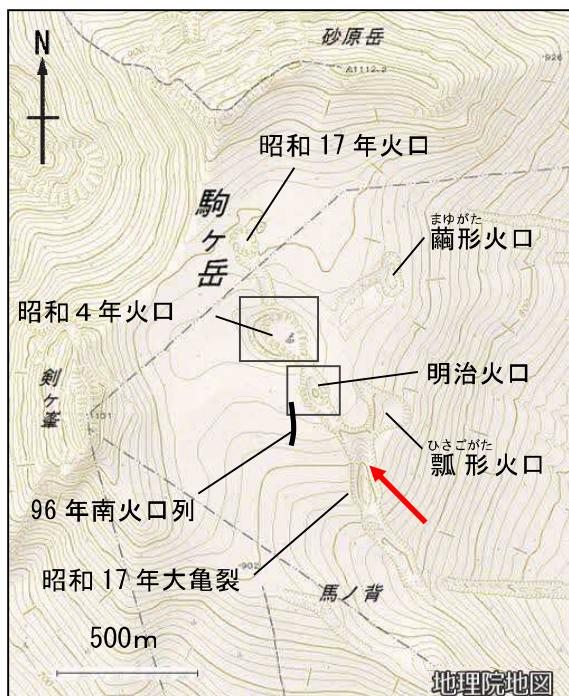


図3 北海道駒ヶ岳 写真の撮影方向（赤矢印）



図4 北海道駒ヶ岳 火口原の状況
南東側上空（図3の矢印）から撮影

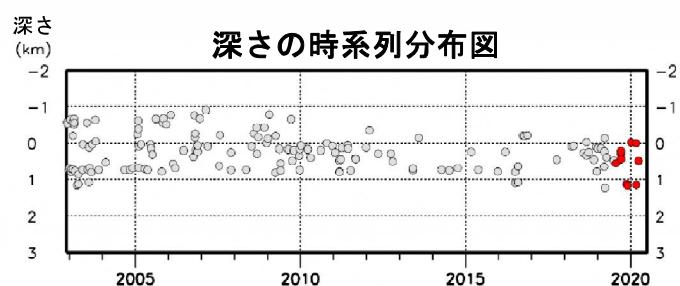
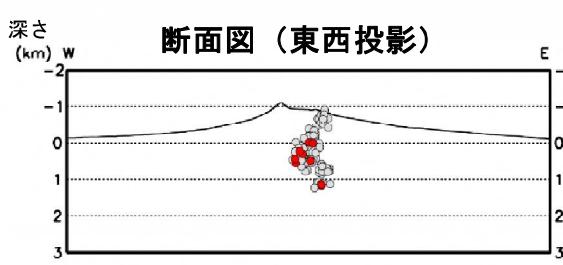
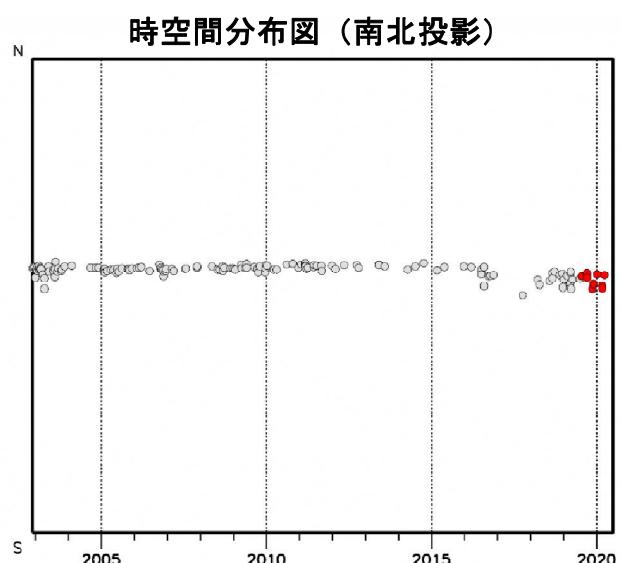
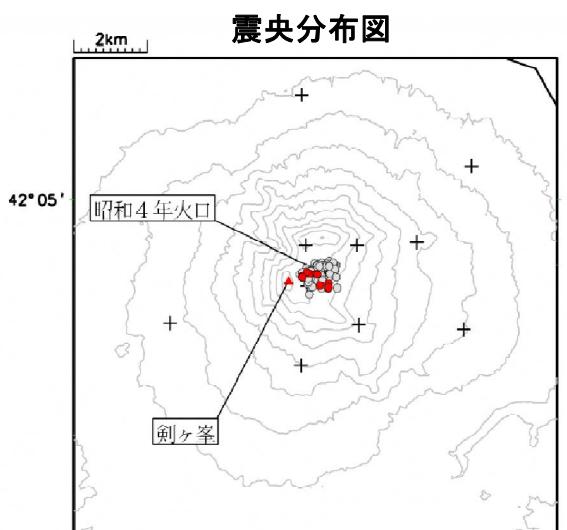


図5 北海道駒ヶ岳 火山性地震の震源分布（2002年12月～2020年6月）

●印：2002年12月～2019年6月の震源 ●印：2019年7月～2020年6月の震源
+印：地震観測点

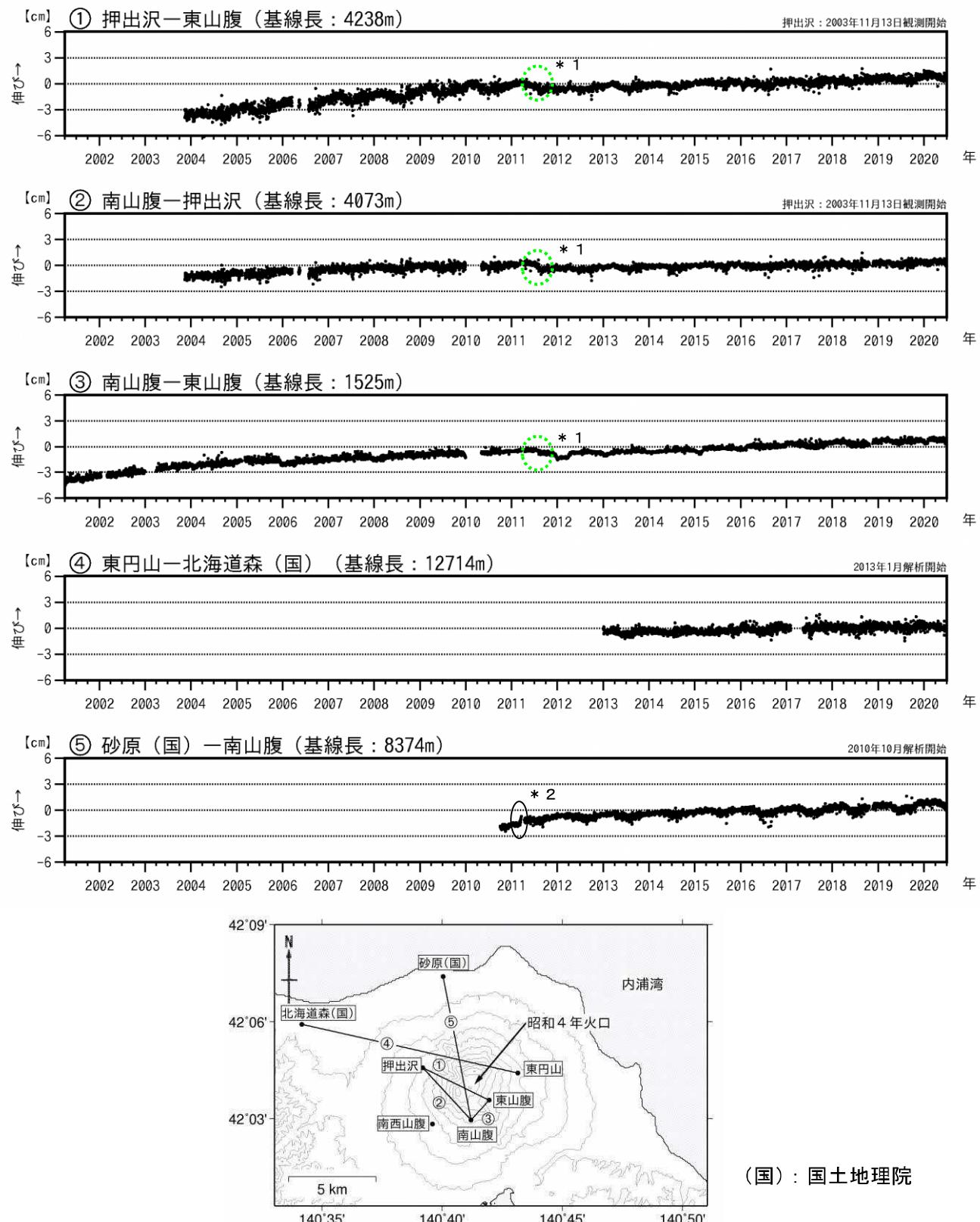


図6 北海道駒ヶ岳 GNSS連続観測による基線長変化（2001年4月～2020年6月）及び観測点配置図

GNSS基線①～⑤は観測点配置図の①～⑤に対応しています。

GNSS基線の空白部分は欠測を示します。

①～③の緑点線円内の変動 (*1) は、機器更新によるものです。

⑤の黒楕円内の変動 (*2) は、2011年3月11日に発生した「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の影響によるものです。

2010年10月及び2016年1月に解析方法を変更しています。

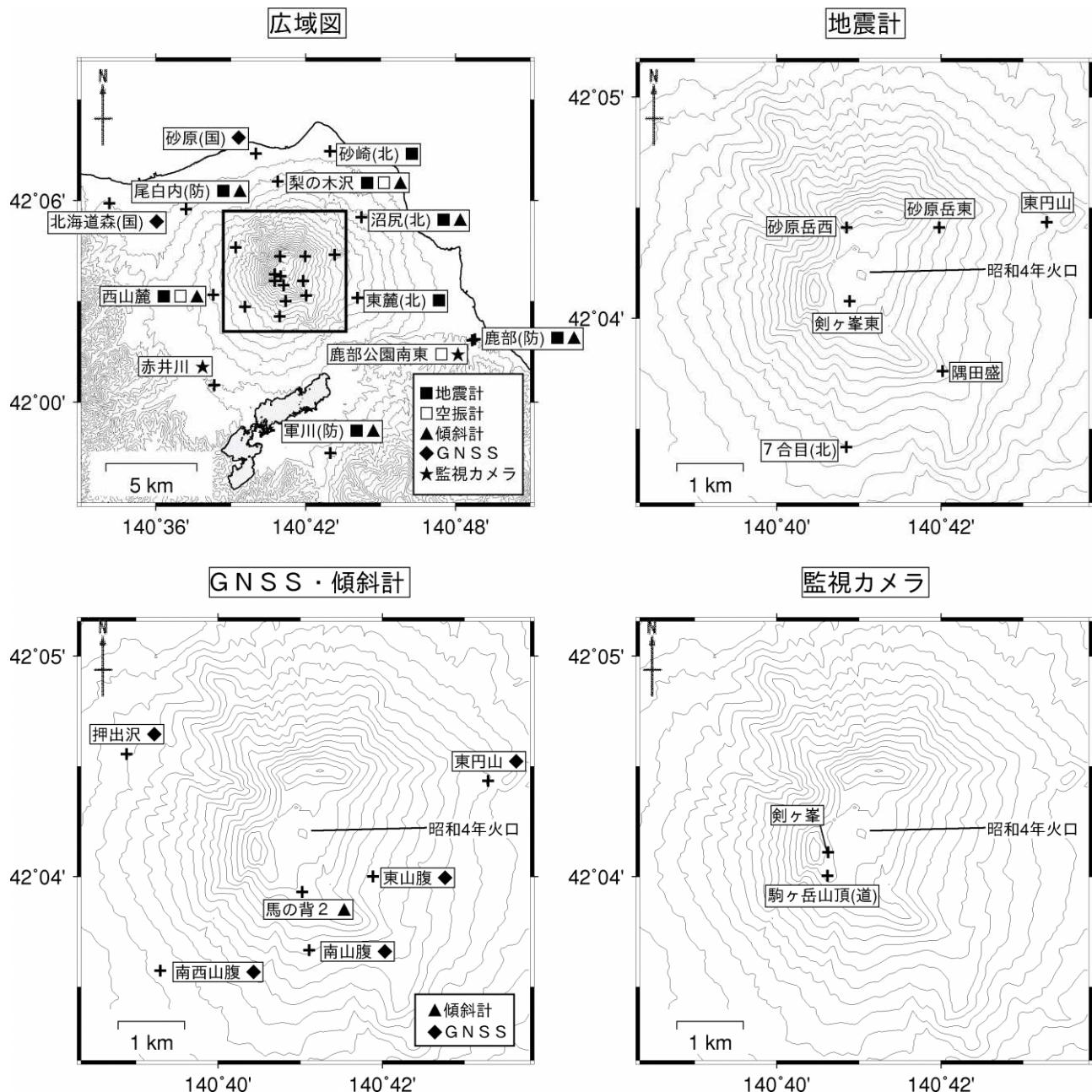


図 7 北海道駒ヶ岳 観測点配置図

地震計、GNSS、監視カメラの配置図の描画領域は、広域図内の□で示した領域を拡大したものです。

十印は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

(国) : 国土地理院

(北) : 北海道大学

(防) : 国立研究開発法人防災科学技術研究所

(道) : 北海道